

ま
つ

POE BACKS
BABY COMICS

Presented by Matsu



TOKIO no Haru.

初めて
付き合った男は

クズだった

自らの顔が嫌い。
自らの恋情を受け入れられない。
自らが深く人と繋がることを否定する。
みんなどこか欠落している、
だからみんな求め合う。

【学生時代に遊んだ先輩】+【居場所を転々とするヒモ】×【セックスが怖いモデル】

あ

う

POE BACKS
BABY COMICS

Presented by Matsu

しほの春

TOKIO no Haru.



ま
す

POE BACKS
BABY COMICS

Presented by Matsu

東京の春

TOKIO no Haru.



C o n t e n t s

1 ————— 003

2 ————— 029

3 ————— 057

4 ————— 095



絡まって落ちる ————— 135

明日もまた日は昇る ————— 165

エスケープ ————— 195



昔から
自分の全てが
嫌いだった



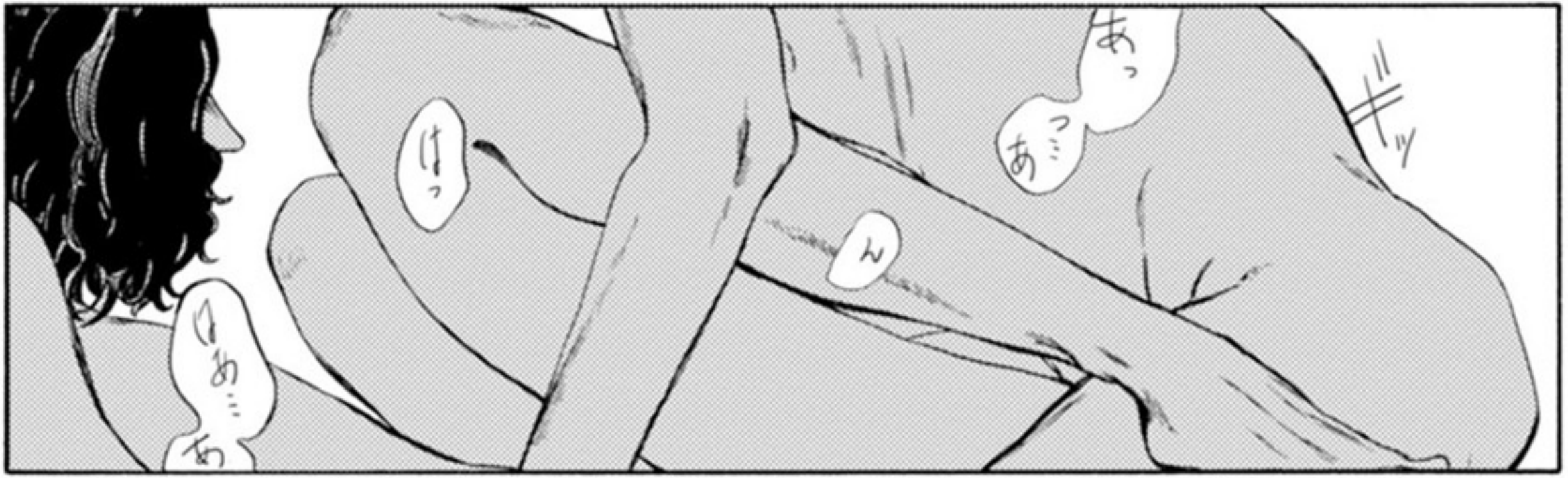
枝のように
細長い手足に
生白い肌

人より頭一つ
高い身長



そして
この顔







初めて
付き合った男は
クズだった





あいつは
この顔を嫌い

最中は
いつも俺の顔を
隠した



それでも
当時の俺は
若く盲目的で



後になって
気がついた



体以外
どうしても
良かったのだと



悲しくて惨めで
俺は自分を
否定した



近づいてくる
奴は皆
あいつに見えた



おはよう

もう
仕事行く?

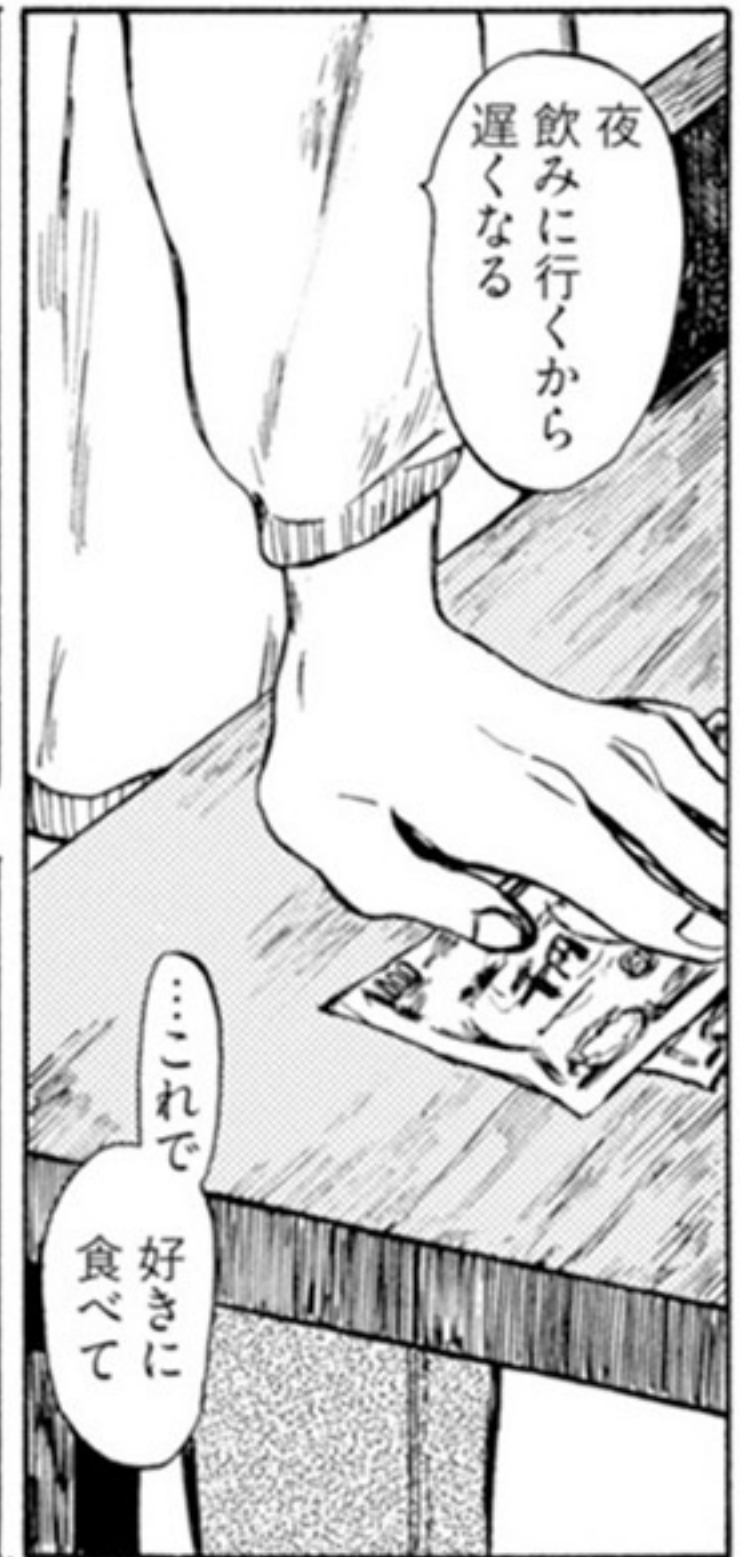
うん
そうだ



この男
以外は

ときお
時生

おはよ





場所は
マンションの
ごみ置き場



良かったら
一晩泊めて

なんて



その
素敵な
お兄さん



それ以上は
何も
知らない

名前は
トモヤ









ああ

お前の
家に

あの男
まだ
いるのか

その…

なあ



家に
住まわせて
働かない
あいつに
金やって…

それって
ヒモだろ



…こんなこと
言いたく
ないけどさ

追い出した方が
いいんじゃないか？



もう
帰る

え



今日は

それに危ない奴
だったらどうする
何か起こる前に

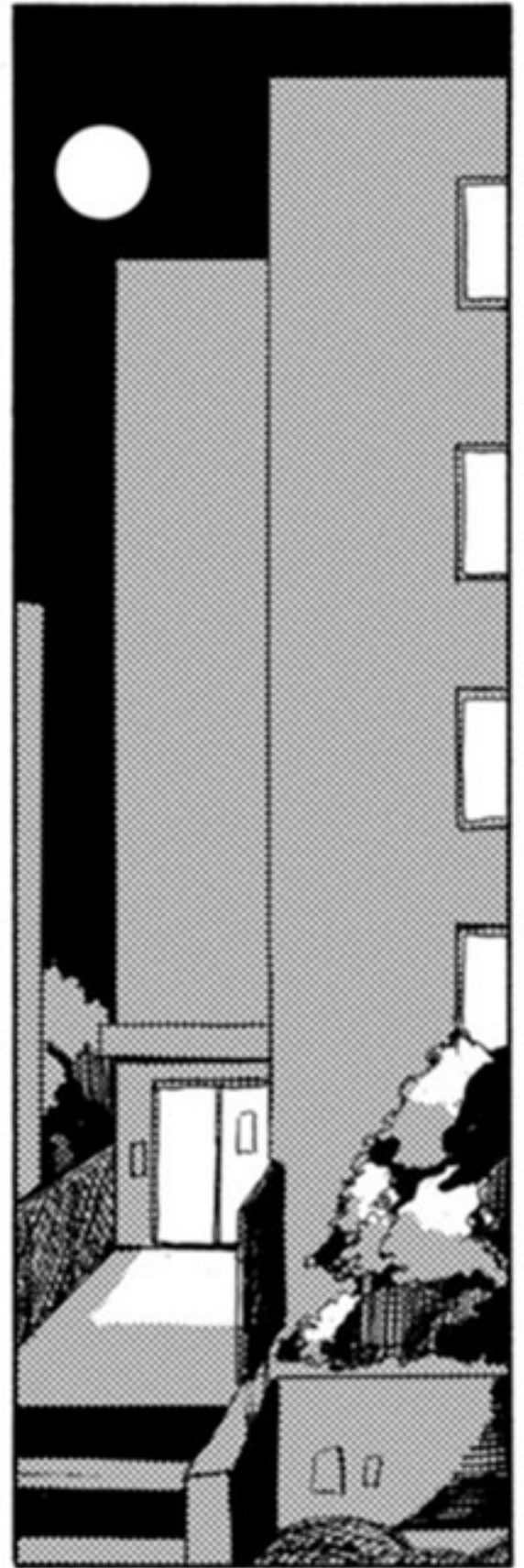
お前に
ふさわしく
ない



あんな男



おいっ







さすが
モデルさん
だ

手も足も
細くて長い



綺麗だ

肌も
髪も
顔も

手も足も
細くて長い



俺は
好きだよ

全部

嫌いだ
こんな

っ...
綺麗
じゃない



ごめん



ごめん

やっぱ無理だ

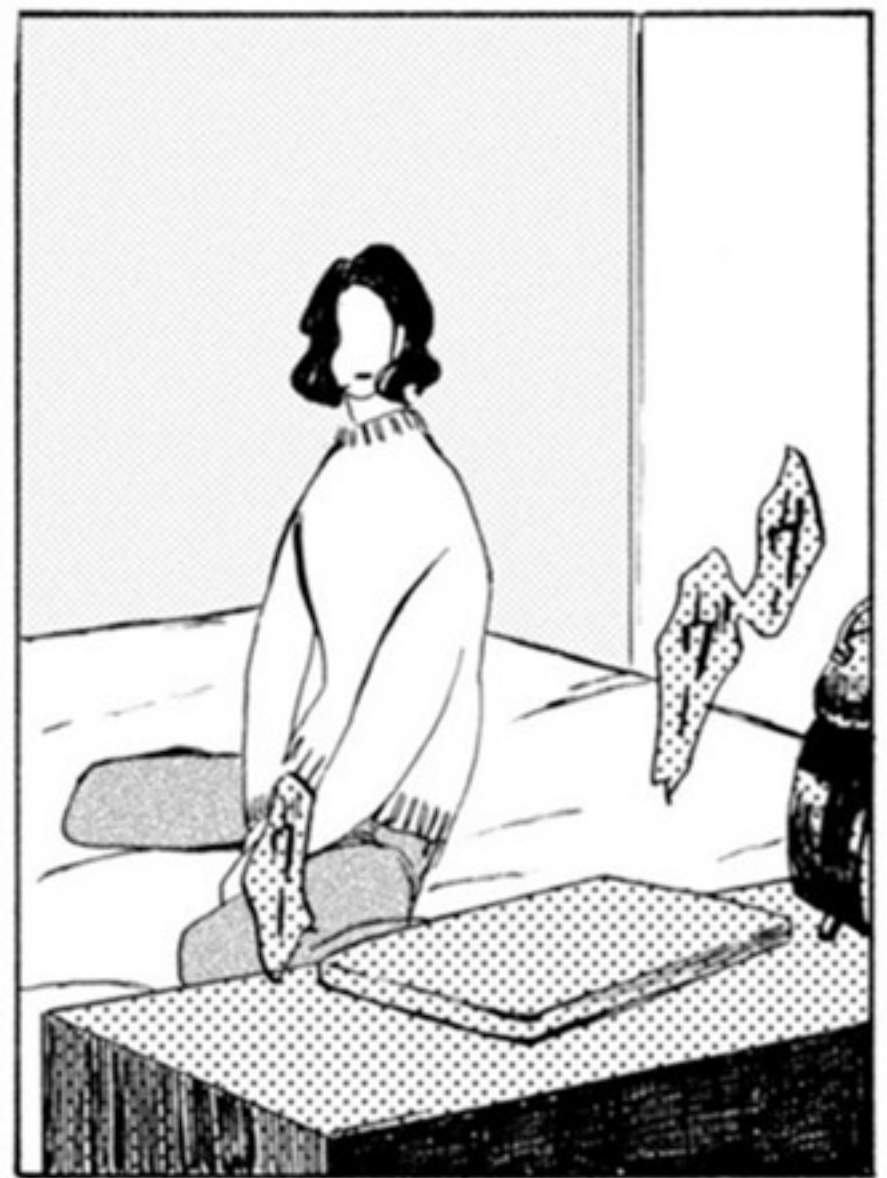
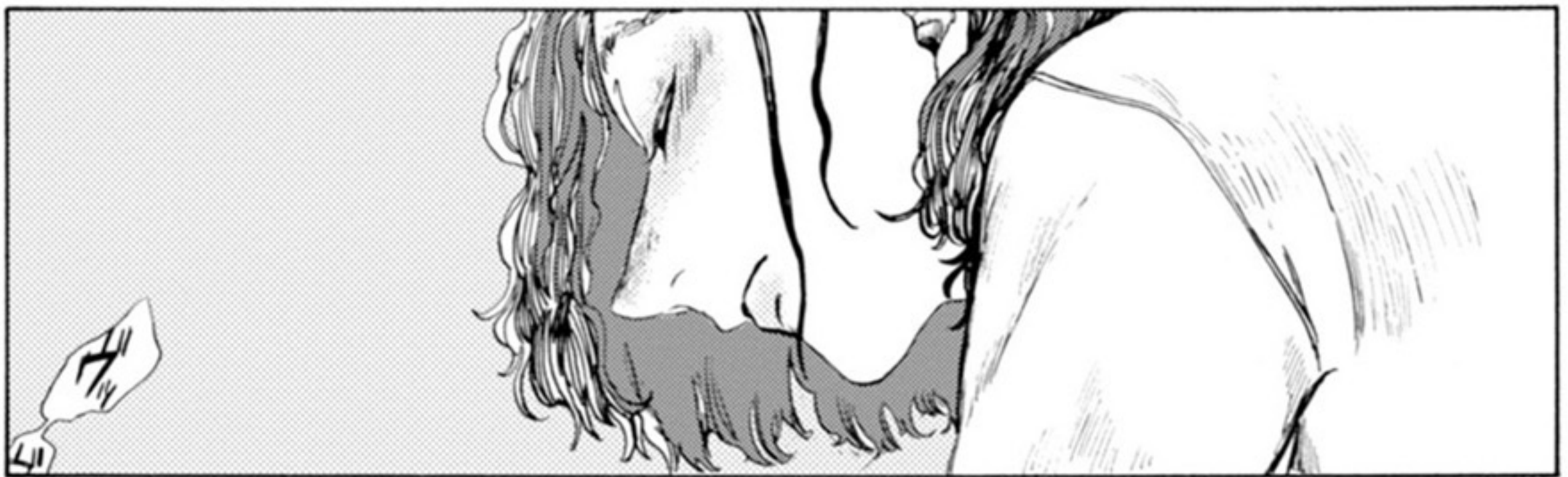
まだ...



.....

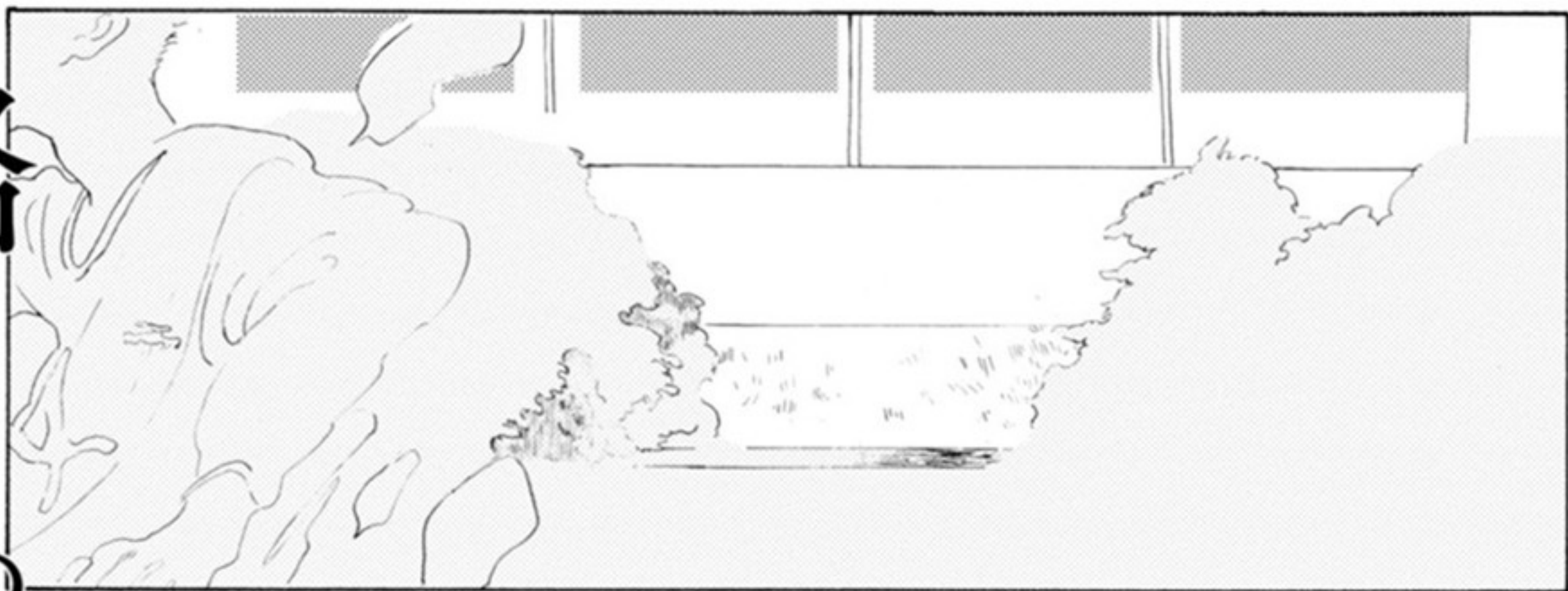


ごめん

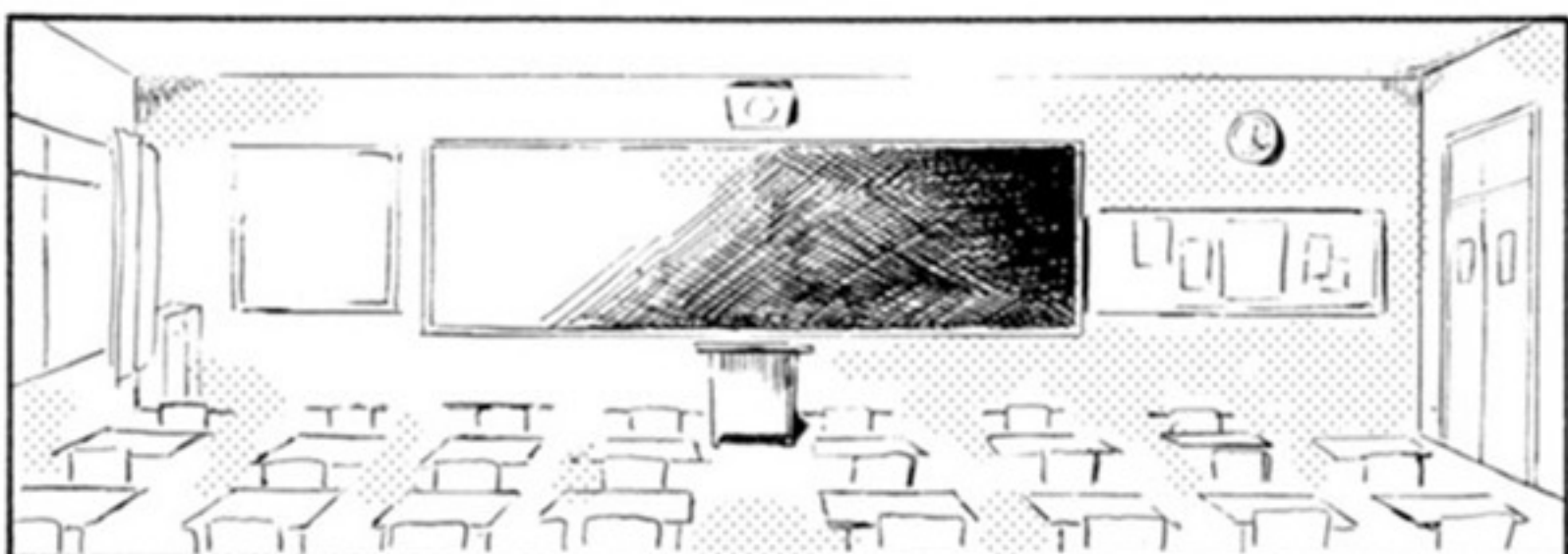




絡ま
つ
て
落
ち
る

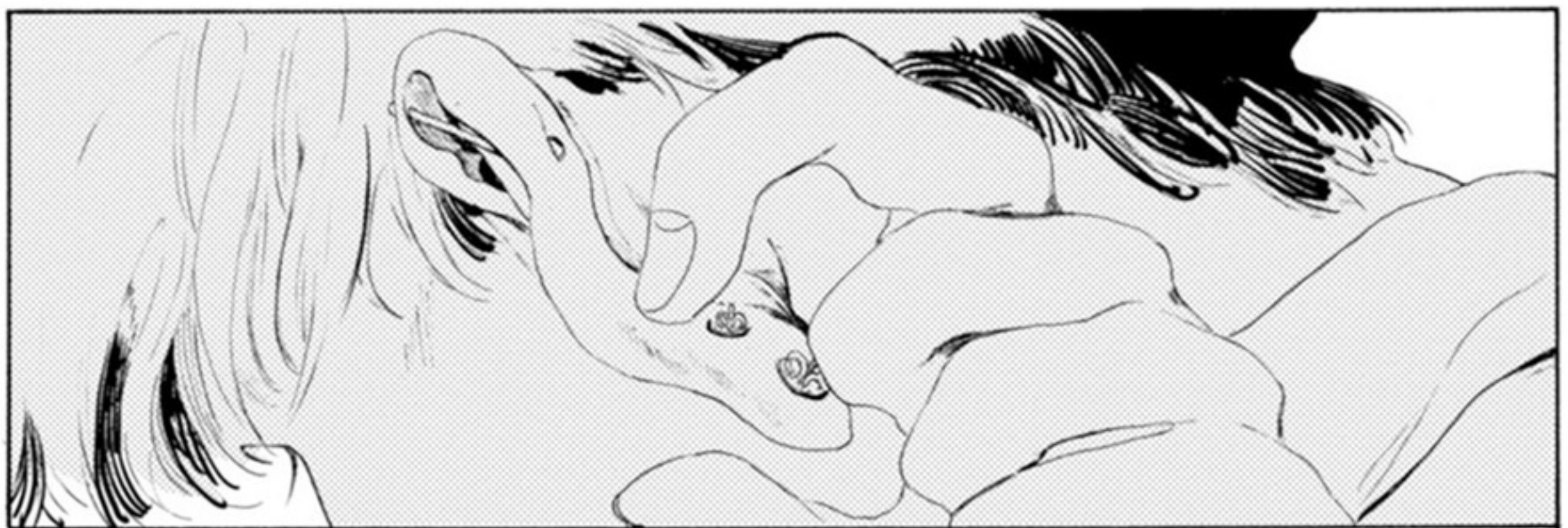
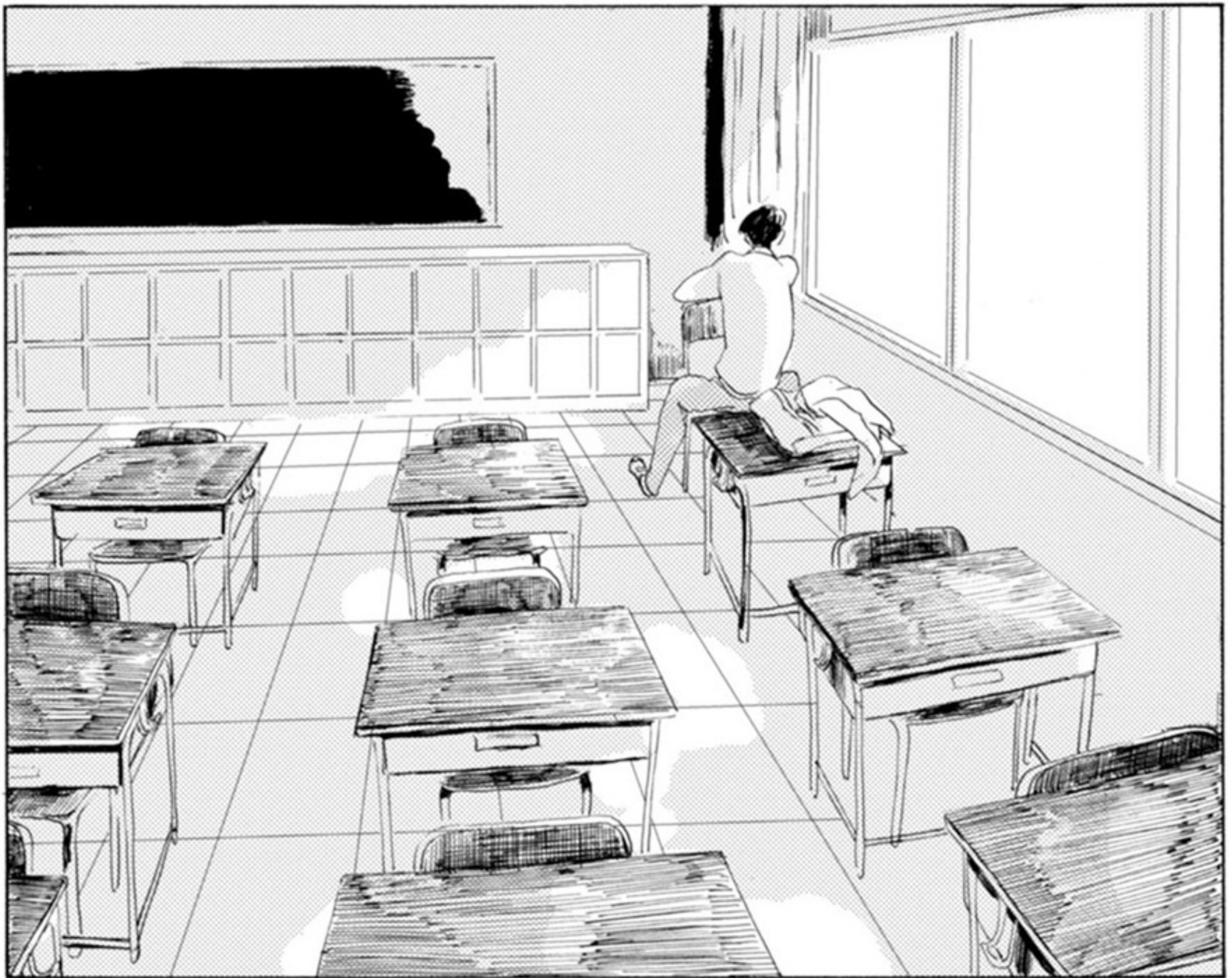


きたきた













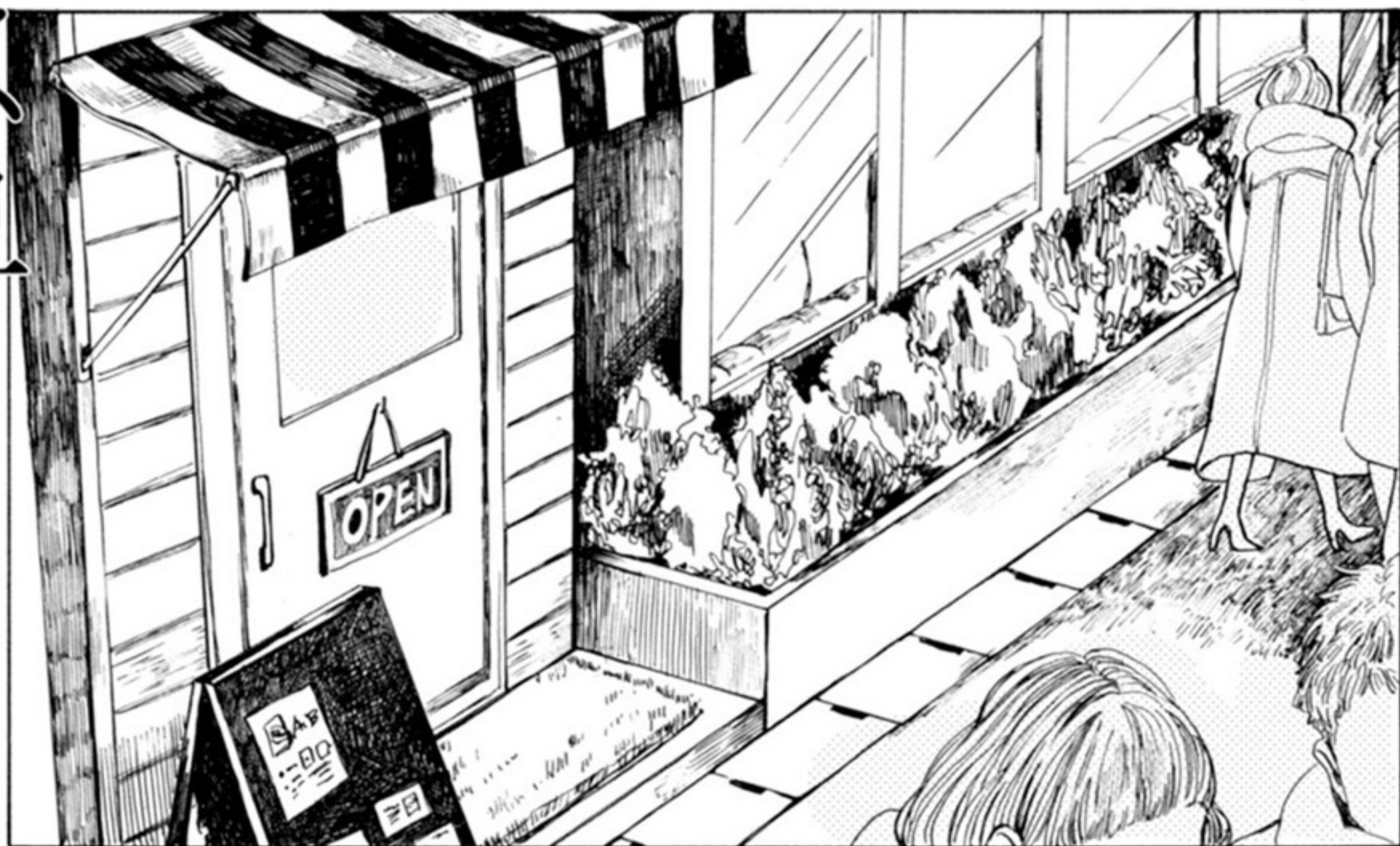
模範的生徒

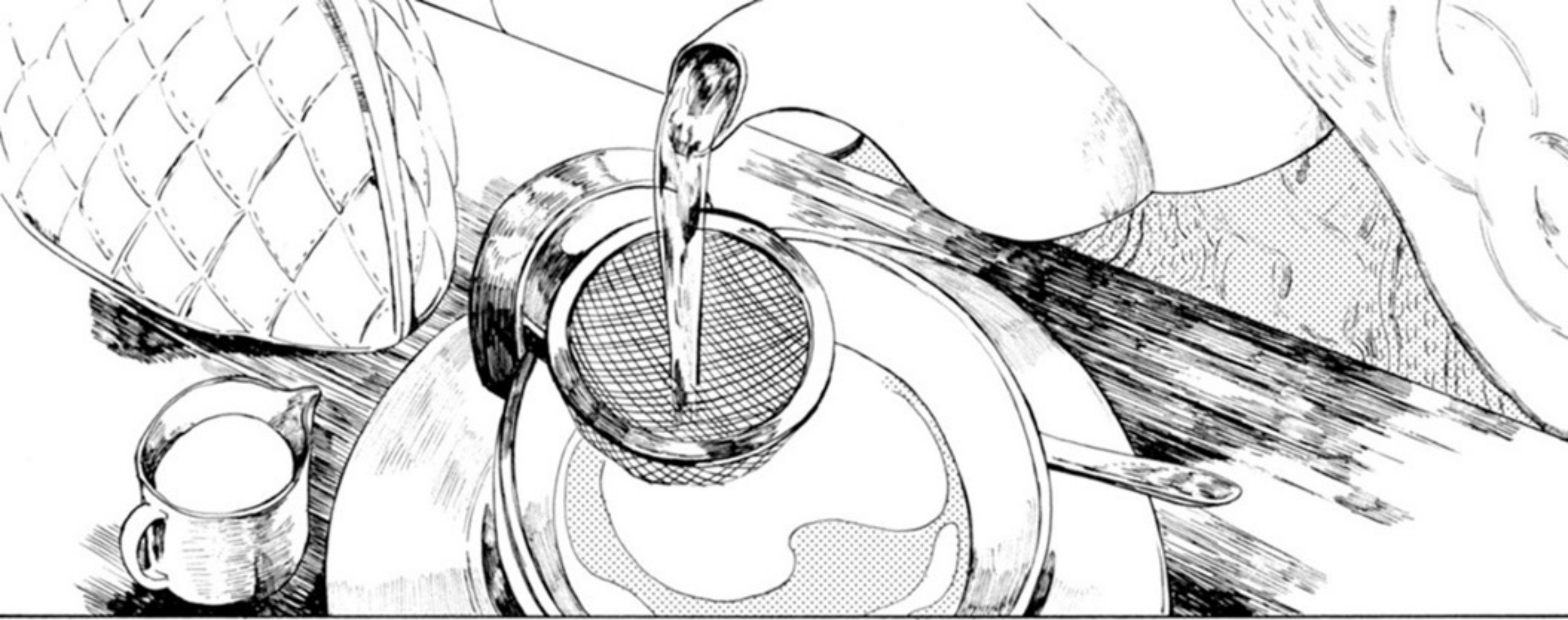


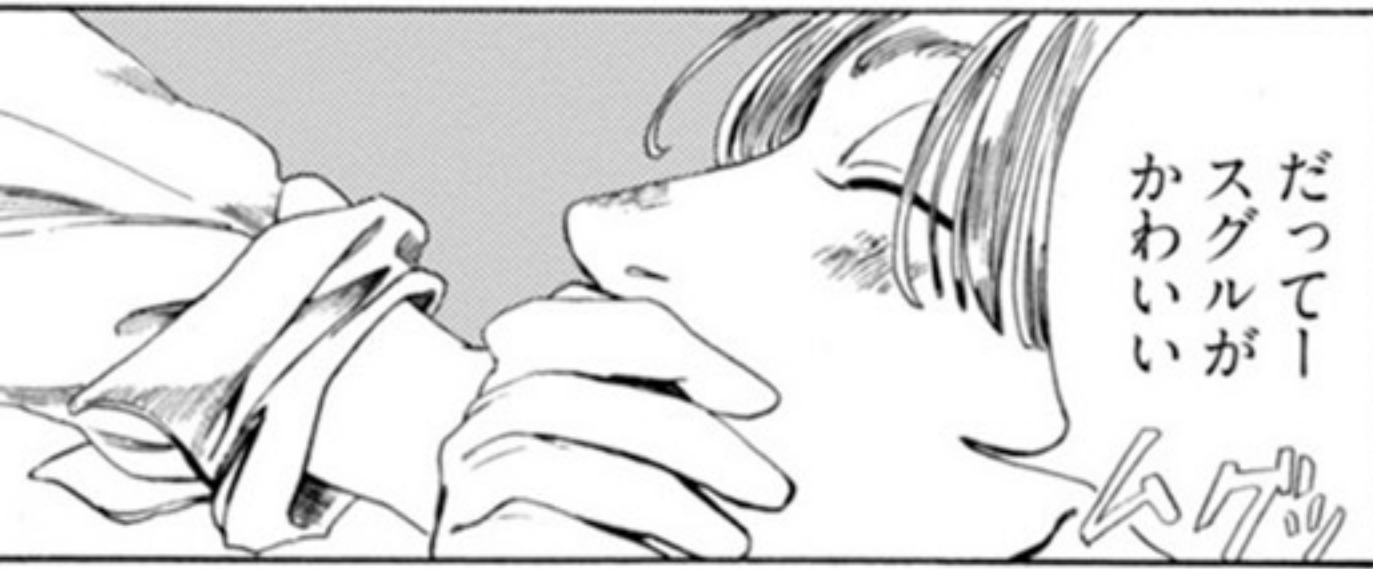




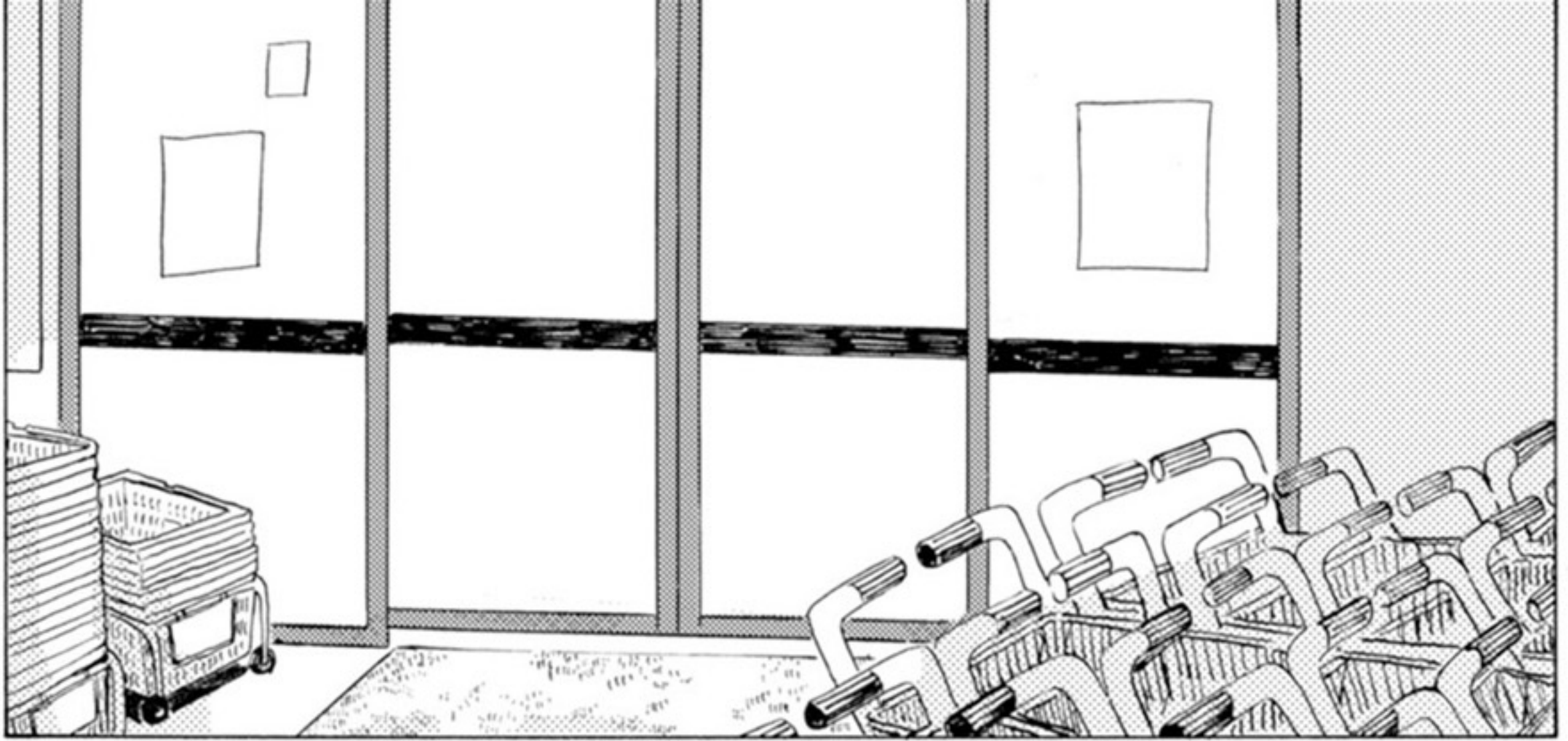
明日もまた日は昇る











ハルサー

ひまだったんなら
買い出ししとけよな



店長さん
神



やっぱ
スグルん店好きだわ



まあ

ん。
はい。



やだよ
一緒に
したいじゃん

してこそ
じゃん



一緒に
スーパーで
買い物する
ってさ



確かに



家族み感じる



これから
同じ家へ帰る
って感じで

いいよな



！スワル
俺カマンヘル
食べたい

えーそれ
高すぎない？

いいやつ
食べようぜー

俺
払うから

早っ

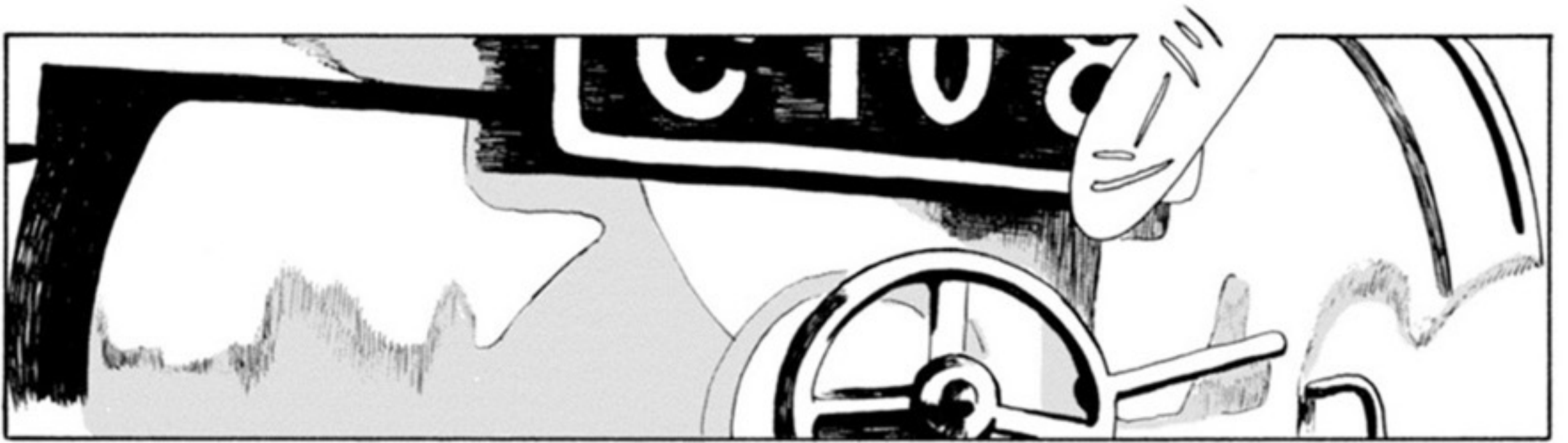
よし



フリーターは
金ないんだよ

学生も
ねーよお

エ
ス
ケ
ー
フ





どうも、
いつもお世話に
なっております





来週っ?

え

千葉さんなら
来週まで
お休みです



千葉さん...

あれ?

ああ



親戚の方が
亡くなった
みたいです

そうだった
んですか



思うところが
あるんじゃないかな

んー



それはもう
終わってるん
だけど

いや



いやー
すまないね
田辺くん

代わりに
私が見るよ



急なことでね
事故だそうだ

お葬式
とかで
お休みで?







ありがとうございます
ございます



.....



ふう..

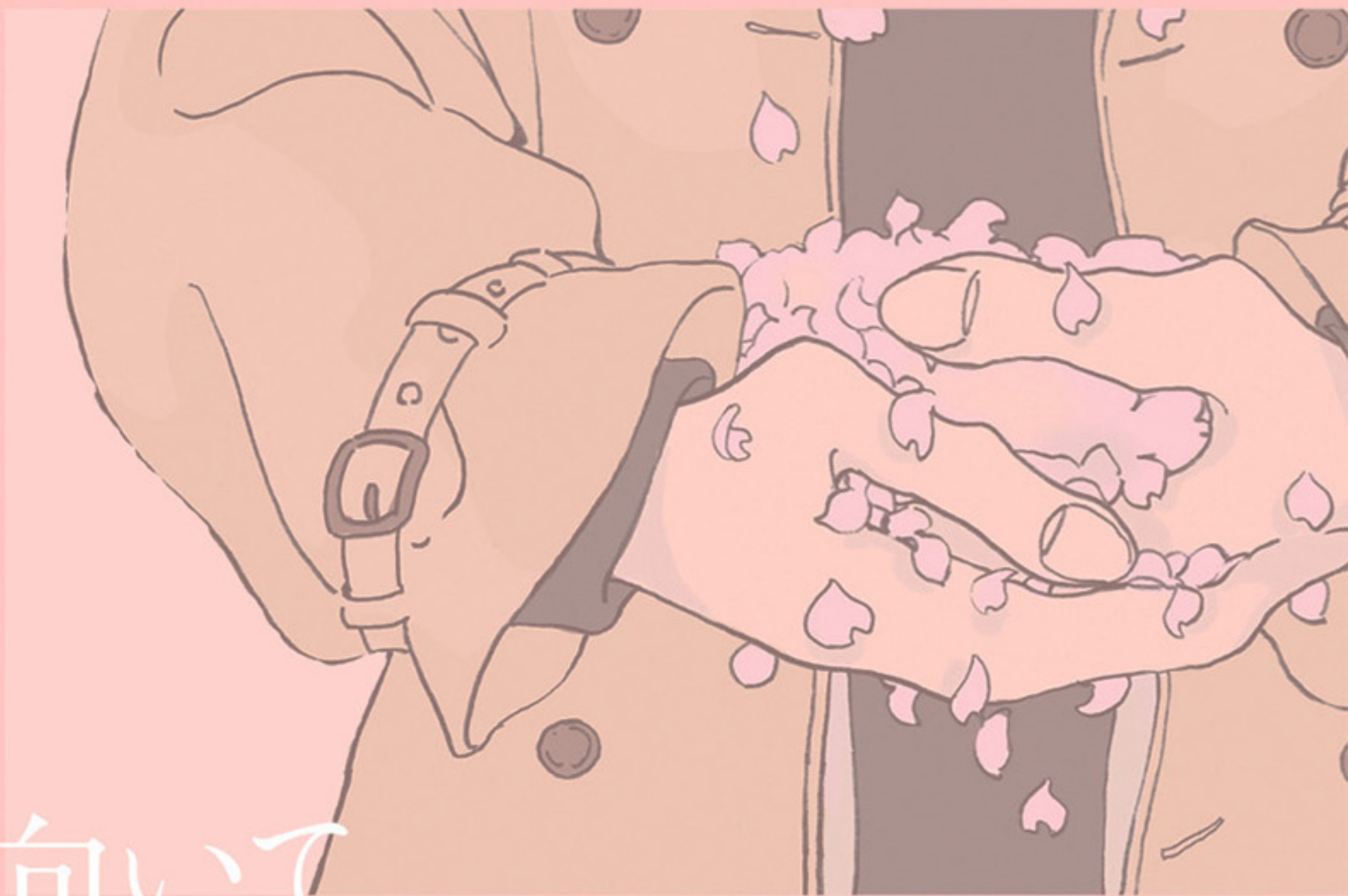


俺何してんだろ

一人で

仕事休んで





あっち向いて、 お前の顔 萎えるから。

自分のルックスにコンプレックスを持ちながらも被写体として働く時生。学生ときがの頃に付き合っていた相手にも容姿を否定されてしまったことがきっかけで、セックスそのものに恐怖心を抱いていた。そんな時生の元に転がり込んだトモヤは時生のトラウマを包み込むように触れようとする。切ない想いがじんわりとした余韻を残す表題作の他、3本の短編を収録。



怖くても、一人ではいられない。